

1 主題構成表

主題名 いつもきちんと
資料名 太郎のいどう教室

<p>■内容項目A 節度, 節制 自分でできることは自分でやり, 安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする事。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理整頓や, 物の管理ができる児童とできない児童がいる。できない児童は探す時間が増え, 活動が遅れてしまう。 ・他の人のできていないところを見つけ, 呼びかけをすることができるが, 他の児童や, 保護者からの注意や呼びかけに対して素直に聞き入れられないことがある。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の声かけや, 叱られるという思いから, 他律的に整理整頓を促されているだけで, そのよさを理解しての行動ではない。また, 整理整頓ができていないことに慣れてしまっている。 ・自分の考えで行動しようとする気持ちが出てきているが, 自分を客観的に見つめることが難しいため, 自分の価値基準で行動してしまう。 	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教材は, 整理整頓を通して, 主人公の太郎が快適な生活を送ることによさを感じ, 主体的に行動しようとする姿から, 快適な生活を送るためには, よく考えて節度のある行動をすることが大切だと考えることができる内容である。 ・両親の助言と, 自分の部屋の様子から, 自分が困っていることの原因を他に求めていた自分を内省している主人公に共感する児童が多いと考えられる。自分のいたらなさを自覚し, 両親の助言は自分が快適な生活を送るために必要であったことに気付くことができる。 ・主人公の今後を考えることで, きちんと整理整頓をすると, 気持ちがよいということを確認する。さらに, 自分で考え, 自分で行動できたという喜びが, 自ら生活や環境を整え, 気持ちのよい生活につながることに気付かせたい。
--	--	--

■ねらい
両親の助言や自分の部屋の様子を振り返り, 部屋の整理を始める主人公の気持ちを考えることで, 自分が困っていることの原因が他律的な自分にあるということに気づき, 自分で考えて生活や環境を整え, 気持ちのよい生活をしたいという態度を育てる。

■研究内容に関わって
【研究内容Ⅱ】仲間と考えを深め合い, 自分自身を見つめることができる道徳授業のあり方
(1) 児童の学習状況を具体的に描いた指導と評価の一体化
・主人公が変容した理由を問い返すことで, 主人公の気持ちを自律的な意識や両親の助言の面から引き出す。そして, 困っていることの原因を他に求めていた自分を内省し, 自分で考えてできることは自分でやり, 生活や環境を整え気持ちのよい生活をしようという態度を育てていく。

2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<ul style="list-style-type: none"> ◇「きちんと」という言葉について考える。 ○事前アンケートの結果を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと片付けをしなさいと言われる。 ・きちんと靴をそろえることを意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストマイニングを活用し、価値への方向付けをする。
展開前段	<ul style="list-style-type: none"> ◇資料「太郎のいどう教室」を読み、「いつもきちんと」について考える。 ○宿題のプリントを見た太郎はどんな気持ちだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱりあった。 ・朝、一緒に探してくれたらよかったのに。 ・お母さんが見つけてくれたんだ。ありがとう。 ◎お父さんのひと言で太郎は何が心に引っかかったのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんのせいにしてしまったな。 ・自分でもう少し探せばよかった。 ・いつも整理していれば自分で見つけられた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【深めの発問】</p> <p>○部屋の整理を始めた太郎はどんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう「太郎のいどう教室」なんて言われたくない。 ・お父さんに叱られたくないから整理しよう。 ・今朝、掃除をしてもらった部屋がもう散らかっている。 ・自分の部屋だから自分で整理しないと。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○これから太郎はどうしていこうだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・叱られたくないし片付けと思う。 ・散らかったのに気付く片付けと思う。 ・気持ちのよい生活のために片付けと思う。 ・自分でできるようになったから自分でやろうと思う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分で考えて自分でできることは自分できちんとすると、気持ちのよい生活が送れる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発問をモニターで提示し、考える視点を明らかにする。 ・板書や発問にイラストを提示し、場面がイメージできるようにする。 ・自分の失敗を母親のせいにしてしまう太郎の気持ちに共感し人間理解を深める。 ・太郎の気持ちの変容を比較できるように、板書に位置付ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価の視点】</p> <p>行動や思いの理由を全体に問い返し、太郎の気持ちを多面的・多角的に引き出すことで、他律的な自分に原因があるということに気付いている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんの助言を受け入れられたのは、太郎が自分のいたらしさに気付いたからだということを押さえる。 ・他律的な意見も認めつつ、自律的な意見の理由を問い返し、自分で考えてしたことが気持ちよさにつながることを押さえる。
展開後段	<ul style="list-style-type: none"> ◇本時の授業で感じたことをもとに、自己を見つめる。 ○これからどんなことをきちんとしたいですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとゲームをする時間を守りたい。そうすると、早く寝ることができて気持ちのよい生活が送れる。 ・きちんと部屋の片付けをしたい。そうすると、自分で学校の準備ができるようになり、忘れ物もなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りの書き出しを提示し、具体的な策や、理由も書けるようにする。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ◇教師の説話を聞く。 ○きちんとした生活をする大変さや達成感について。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて、できた時には自分に自信がもてたこと、今まで助言してくれた人の気持ちが分かったことを話し、児童の実践意欲につながるようにする。